



ワタナベ ケイタ

渡辺啓太

一般社団法人日本スポーツアナリスト協会
代表理事

■職歴・経歴

浅野中学でバレーボールを始め、「ITをスポーツに活用すること」を志して専修大学ネットワーク情報学部に入學。独学でアナリスト活動を開始。在学中に全日本女子バレーボールチームのアナリストに抜擢され、以後10年以上にわたり情報戦略活動を担当し、2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロと3度のオリンピックを日本選手団役員として経験。

2010年には世界で初めてiPadを用いた情報分析システムを考案・導入し、32年ぶりとなる世界選手権でのメダル獲得、2012年のロンドンオリンピックでは28年ぶりとなる銅メダル獲得に貢献した。全日本チームの支援を続ける傍ら、アナリスト育成セミナー等を開催して後進育成にも注力。

2014年からは競技の枠組みを超えたスポーツアナリストの連携強化及び価値向上を目指して日本スポーツアナリスト協会を創設し、代表理事として活動している。

- ・一般社団法人日本スポーツアナリスト協会 代表理事
- ・公益財団法人日本バレーボール協会ハイパフォーマンス事業本部
ハイパフォーマンス戦略担当 / 男子強化委員会主事 / アスリート委員会主事
- ・公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ/ナショナルコーチアカデミー講師
- ・専修大学ネットワーク情報学部客員教授
- ・総務省 スポーツ×ICTワーキンググループおよびタスクフォースメンバー

■著書

- 『人はデータでは動かない--心を動かすプレゼン力』 (新潮社)
- 『データを武器にする』 (ダイヤモンド社)
- 『伸びる人のデータの読み方、強い組織のデータの使い方』 (日本文芸社)
- 『なぜ全日本女子バレーは世界と互角に戦えるのか』 (東邦出版) ほか
- 『考えて強くなるバレーボールのトレーニング:スカウティング理論に基づくスキル&ドリル』 (大修館書店)

■メディア

『心ゆさぶれ!先輩ROCK YOU』(日本テレビ)、『みらいのつくりかた』(テレビ東京)、『ボクらの選択』(フジテレビ)、『荻上チキ・Session-22』(TBSラジオ)などに出演。Vリーグや春高バレー等、バレーボール中継の解説も務める。日本経済新聞【駆ける魂】や産経新聞【話の肖像画】などの連載はじめ、Think!(東洋経済)、Number(文藝春秋)、MacFan、月刊バレーボール等各種雑誌やWebメディアの取材多数。